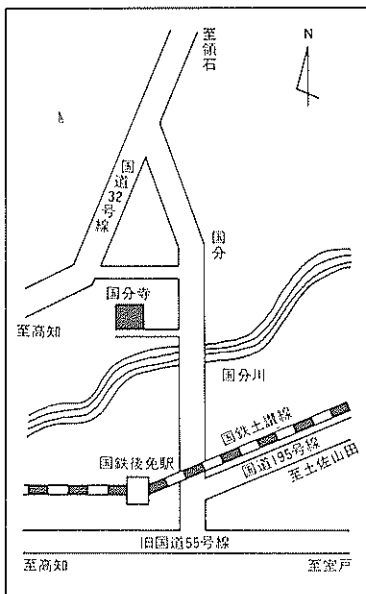
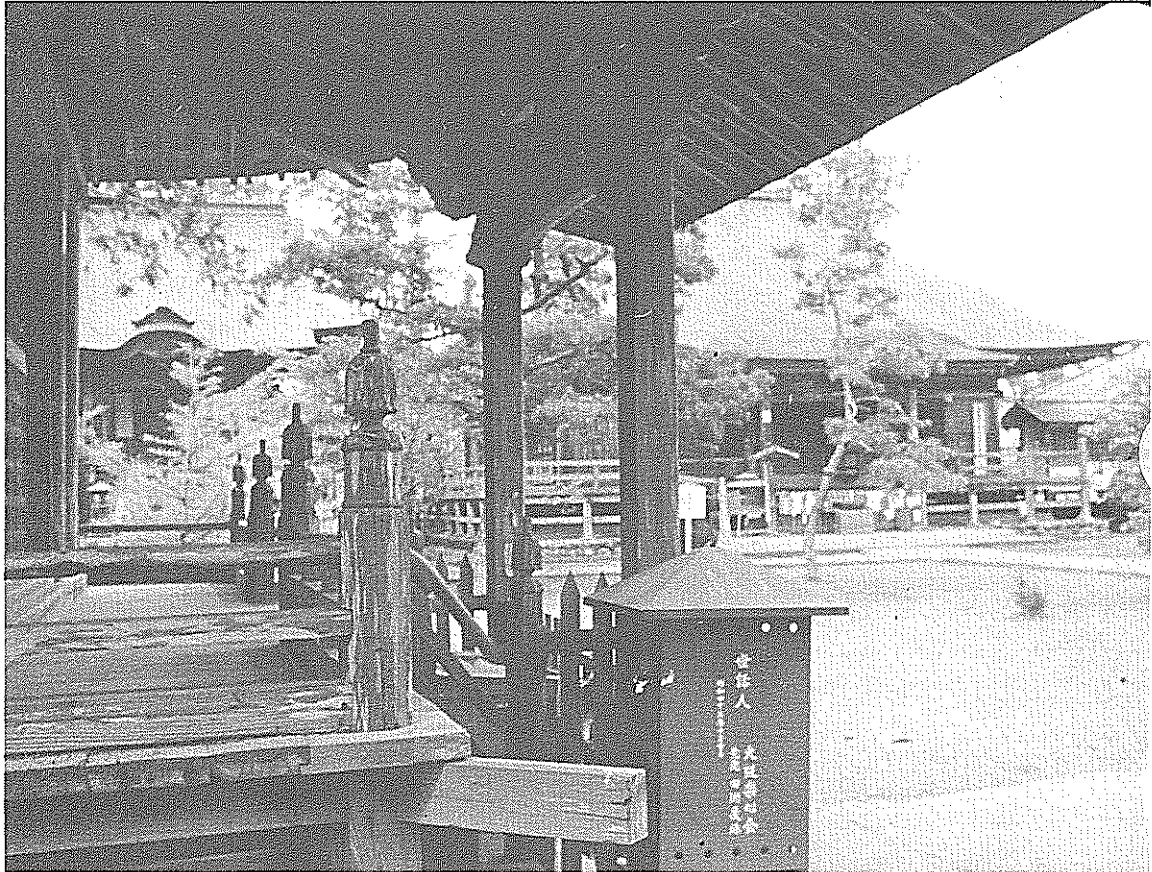


史跡をたずねて ① （国分寺）



国分寺の建立は聖武天皇の勅命で、土佐では国府の地が決められた。当時、高知市は浦戸湾の海底にあり、大津が政治の中心、国府の棧橋であった。国分寺は僧行基が創建した。土佐国分寺の寺伝によると、天平9年(737)が創建だが正史では天平11年(739)となっている。しかも聖武天皇が正式に国分寺を全国に作らせる詔勅を出したのは天平11年(741)3月とある。国分寺の総本山、奈良東大寺の大仏開眼は天平勝宝4年(752)である。建築後、国分寺の監督維持は国司の任務とされた。

広報 **なんこく**

5/151975 No.195

編集・発行／南国市広報委員会